

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	周南市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	周南市地域の文化遺産次世代継承事業	【計画の改善時期】 平成30年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「周南市地域の文化遺産次世代継承事業」として、周南市まちづくり総合計画の内容（優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進める）を踏まえ、郷土に根ざした特色ある伝統芸能の保存及び振興を図るため、伝統芸能の記録作成と成果物の活用を行う。予算の関係上、基本的には単年度事業となるが、映像記録未制作団体に関しては継続して記録を作成する。</p> <p>また、平成30年度には、郷土の伝統芸能を「ふるさとの財産」として次世代に伝えるとともに、多くの市民に鑑賞できる機会を提供することで伝統芸能への関心を高めてもらうために、市内各地の伝統芸能保存団体が一堂に会する周南郷土伝統芸能大会を開催する、そして、その会場で作成済の映像記録も活用する。</p>			
6 実施体制			
<p>周南市（担当：地域振興部文化スポーツ課）が企画調整及び事業の指導を行い、事業は周南郷土伝統芸能保存協会（構成団体：周南市内で活動する伝統芸能25団体）が実施する。</p> <p>周南郷土伝統芸能大会の開催については、周南郷土伝統芸能保存協会と共に、周南市及び周南市教育委員会が共催で実施する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 2,261 千円	平成30年度申請額： 1,078 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>映像記録により、過疎化・高齢化による指導者減少等で困難になっている保存会の継承活動に寄与することができる。</p> <p>また、映像の活用や周南郷土伝統芸能大会の開催により、周南伝統芸能保存協会加盟団体間での相互理解が深まり、交流や情報交換等が促進されるとともに、継承活動に対して市民と地域の関心を高めることで、より効果的に継承活動が持続できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>現在、計画策定の見込みは未定</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	周南市地域振興部文化スポーツ課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1：	周南伝統芸能保存協会加盟団体数			関連事業：	事業①	
目標値 1：	【現状値】 平成 28 年度 25 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 25 団体					
設定根拠 1：	伝統芸能の継承活動を維持のため、保存団体及び関係者の減少を防ぐ					
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
25 団体	団体	団体	団体	団体	団体	
100%						
目標区分 2：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2：	その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2：	周南伝統芸能保存協会加盟団体による伝統芸能披露件数			関連事業：	事業①②	
目標値 2：	【現状値】 平成 27 年度 58 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 件					
設定根拠 2：	加盟団体による普及啓発活動の持続的な実施（維持）					
進捗状況 2：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
64 件	件	件	件	件	件	
107%						
目標区分 3：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3：	その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 3：	記録映像DVDの貸出・利用件数			関連事業：	事業①②	
目標値 3：	【現状値】 平成 28 年度 9 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 件					
設定根拠 3：	地域の伝統芸能に関心を持つ人の増加					
進捗状況 3：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
15 件	件	件	件	件	件	
100%						

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	伝統芸能映像記録作成及び公開事業				実施団体：	周南郷土伝統芸能保存協会			
事業区分：	記録作成				事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	郷土に根ざした特色ある伝統芸能の保存振興を推進するため、伝統芸能の記録を作成し、成果物を活用する。								
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	周南郷土伝統芸能保存協会の構成団体数								
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 25 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 25 団体								
進捗状況：	H30年度は大会開催のため、DVD作成は休止。H31年以降は継続。								
平成 29 年度	平成	29 年度	平成	30 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
25 団体	団体	団体	団体	団体	団体	団体	団体	団体	
100%									
事業②：	周南郷土伝統芸能大会開催事業				実施団体：	周南郷土伝統芸能保存協会			
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	市内各地に受け継がれている郷土の伝統芸能を「ふるさとの財産」として次世代に伝え、多くの市民に鑑賞できる機会を提供することで伝統芸能への関心を高めるため、周南郷土伝統芸能大会を開催する。								
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	記録映像DVDの貸出・利用回数（地域の伝統芸能に関心を持つ人の増加）								
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 9 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 件								
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	
15 件	件	件	件	件	件	件	件	件	
100%									